



Webで聴講

岐阜県生コンクリート工業組合（雁部繁夫理事長）は6月25日、

岐阜工組初、Web開催

技術講演会 六郷氏講師に

同工組会議室で第20回技術研究発表会と技術講演会を開いた。同工組は生コン技術大会に応募する論文選考を兼ねて、技術研究発表会を隔年で開催しており、それに合わせて技術講演会を併催してきた。新型コロナウイルス感染症対策として、技術研究発表会が規模

を縮小して開催することにしたため、技術講演会はオンラインによるWebセミナーとした。同工組がWebセミナーを開くのは初めて。Webセミナーはリアルタイム配信だけでなく、動画サイトの「YouTube」によるオンデマンド配信（6月28日まで）も行

い、受講者の都合の良い時間に視聴できるようにした。技術講演会では岐阜大学の六郷恵哲名誉教授が「レジリエントなインフラの構築に向けたアイデア〜コンクリート工学分野を中心に〜」の題で、大学構内からリモートで講演。講演資料について

は、自動音声機能を使って読み上げ、示されたパワーポイントの内容について、六郷教授が解説する形式を採った。

講演の目的は「災害に強くなやかなインフラを造るためのアイデアについて考える」で、六郷教授は高靱性モルタル（HPFRC）の実装、SIP（戦略的イノベーション創造プログラム）で取り組んだロボットを用いた橋梁の点検などを紹介した。また、新型コロナウイルス

イルスの感染拡大を受けて、人との接触や移動の減少、社会的距離の確保が求められる社会になる中で、今後は少人化、遠隔操作の技術が拡大すると指摘。これまでコンクリート分野の新技术の多くはニーズ解決型だったが、これからは課題を解決するための組み合わせ方を示す「ニーズとシーズのマッチングが非常に重要になる」（六郷教授）とし、マッチングに向けたアイデアを構想する重要性を説いた。